

# 事業視察

## 県内の歴史・文化に触れて

10月15～16日の二日間は、5コースに分かれて事業視察が行われ、21世紀最大の農業土木工事と言われ、20年の歳月をかけ湖底から生まれ変わった八郎潟干拓地を含め、県北地方、県南地方の美しい風土や食文化などにも触れていただき、秋田ならではの土地改良施設、文化・歴史、自然の風景、秋たけなわの食を存分に堪能していただけたことと思います。

### A コース 北秋田・鹿角 1泊2日

神秘の湖 十和田湖と日本最古の芝居小屋を訪ねて



「大太鼓の里」(北秋田市)



農事組合法人立花ファーム(大館市)



明治の芝居小屋「康楽館」(小坂町)



綴子地区ほ場整備(北秋田市)

### B コース 大潟・男鹿 1泊2日

干拓地大潟村となまはげの里を訪ねて



南部排水機場(大潟村)



大潟村干拓博物館(大潟村)



滝の頭湧水(男鹿市)



国営造成土地改良施設整備事業・F2取水口(大潟村)

# C 由利・雄勝 1泊2日

紅葉の鳥海山と小町の郷を訪ねて



皆瀬頭首工(横手市)



小滝温水路(にかほ市)



小町堂(湯沢市)



鳥海山

# D 平鹿・仙北 1泊2日

伝説の湖 田沢湖とみちのくの小京都角館を訪ねて



池田氏庭園(大仙市)



田沢湖



十五野地区ハウス団地組合(横手市)



秋田銘酒の蔵元(大仙市)

# E 大 潟 日帰り

干拓地大潟村を訪ねて



秋田県農林水産技術センター農業試験場(秋田市)



大潟村干拓博物館(大潟村)



国営総合農地防災事業 男鹿東部二期地区(防湖水門)

## 『水』を視点に、大地を潤す豊かな水と水源地域の関わりを考える！

## — あきた食料・環境・ふるさとを考える地球人フォーラム2008 —

## ■「共に語り考える 水土里の水源」

9月7日(日)、あきた 食料・環境・ふるさとを考える地球人会議(会長・高畑進水土里ネット秋田会長)が主催する『フォーラム』が、秋田市文化会館・小ホール(秋田市)で開催された。地球人会議設立から毎年開催し、10回目となるフォーラムは「共に語り考える 水土里の水源」をテーマに、「秋田県中山間ふるさと水と土フォーラム」(秋田県主催)、水土里ネット秋田との合同開催として行われ、県内各地から一般市民など約350名が参加した。



はじめに高畑会長が開会の挨拶を行い、引き続き、「秋田県21創造運動表彰式」や「水土里の活動報告」として21創造運動受賞の水土里ネットによる活動報告、中山間ふるさと水と土活動報告、小学生によるわくわく探訪・感想文発表のほか、黒崎一紀さんによる雄物川の水と環境保全に関する取り組みが紹介された。



基調講演には、秋田の清冽な水で育った秋田市出身の浅利香津代さん(女優)が登場し、自身のふるさと秋田に寄せる想いや、高校まで過ご

した地元秋田の思い出、女優として活躍している今でもふるさと“あきた”に対する想いを、時には笑いや秋田弁を交えながら、厚くユーモアたっぷりに語っていただいた。故郷「あきた」をもっと元気にしたいという熱い思いがこもったメッセージを頂いたように感じた。



また、オール秋田弁による「あきた・トーク」では、コーディネーターにあゆかわのぼるさん(詩人)、トークゲストとして浅利香津代さん(女優)、大石清美さん(イラストレーター)、黒崎一紀さん(FM椿台代表取締役)を迎え、「あきたの水と食」をテーマにしたトークが展開された。出演者は、普段の生活から何気なく感じている水と食の疑問や提言を交えながら、水の大切さ、秋田の食の素晴らしさ、水土里の重要性などを軽妙な秋田弁で語り、秋田の水と食の関わりを強くアピールし、観客の関心を誘っていた。



地球人会議では、今後も広く一般県民や子供たちに「農業・農村」や「水」「土」「里」に対する理解と関心を持っていただけるよう、共に考え、共に学び、共に行動する活動を実施して行くこととしている。

## 古代のロマンに思いをはせながら巡る

### ～ 広大な仙北の自然と歴史と文化 ～

#### 「2008秋田県中山間ふるさと水と土現地見学会」を開催

秋田の中山間地域の農業や資源・魅力について広く県民の方々に関心をもってもらい、農地や土地改良施設の保全・利活用に係わる活動への都市住民等の参加促進を目的に、9月6日(土)「2008秋田県中山間ふるさと・水と土現地見学会」を、今年は仙北管内を舞台に開催した。(協力：秋田県七滝土地改良区・美郷町・大仙市、後援：水土里ネット秋田)この現地見学会は、秋田県中山間地域土地改良施設等保全対策事業(通称：ふるさと水と土事業)で毎年開催しているもので、今回が5回目となる。

今回のコースは、六郷湧水群・関田円筒分水工・七滝水源涵養保安林と棚田(旧六郷町)→坂本東嶽邸(旧千畑町)→払田柵跡・池田氏庭園(旧仙北町)→鈴木酒造店(旧中仙町)と設定し、HP等による募集を行い80人の参加者のもとに開催した。現地での案内をすべて地元の方々におこなってもらったり、管内に多く残っている伝統芸能を現地で披露することで「中山間地の自然と歴史と文化」をじかに感じてもらった。

### 旧六郷町



#### ◆御台所清水

鷹狩りをした佐竹公が料理用の水として使ったとされる『御台所清水』。湧水を味わう参加者もいました。



#### ◆関田円筒分水工

河川から取水した用水を180の枙(ワ)で均等に配分し、農業用水の合理的配分・安定供給を目的に造成された『関田円筒分水工』。



#### ◆七滝水源涵養保安林

奥羽山系七滝山に251haの広さを有する『七滝水源涵養保安林』。天然のため池機能の説明と下流に広がる棚田を見学しました。

### 旧千畑町・旧仙北町



#### ◆坂本東嶽邸

地元をこよなく愛し、旧千屋村の発展に尽力した旧貴族院議員の坂本理一郎(東嶽)氏の旧邸宅『坂本東嶽邸』。明治の雰囲気の中で、地元旧仙南村『菖蒲太鼓』の迫力ある演奏を堪能しました。



#### ◆払田柵跡

平安時代の役所跡といわれ、様々な伝説の残る『払田柵跡』。古代のロマンに思いをはせながら、地元の伝統芸能『堀見内ささら』の鑑賞や仙北米を使った『餅つき』の体験をしました。



#### ◆池田氏庭園

庭園としては県内初の国指定名勝となった『池田氏庭園』。重厚な造りの池田氏家紋が彫られた薬医門や県内初の鉄筋コンクリート造りの私設図書館や日本最大級の雪見灯籠などなど、園内にあるもの全てが貴重なもので、みなさんじっくり見入っていました。